

私 南会津高校南郷校舎 成果発表交流会 たちの思いを聞いてください

2月22日、南会津高校南郷校舎の2年生16名が、地域探究学習の成果発表会を行いました。7チームに分かれ、1年を通して地域の課題や特徴を調査し、それを活用・解決するためにはどのような活動をしたら良いか、様々な視点から提案がありました。南郷トマト新商品開発などの案があり、交流会では来場した地域の方が感想カードを手渡し、生徒と話しをする姿が見られました。



成果発表会を行う生徒たち



探究活動にご協力いただいた方々との記念撮影



浴衣を着こなす男子生徒の皆さん



浴衣を着こなす女子生徒の皆さん

今 まちづくり出前講座 浴衣の着付け 年の夏は浴衣デビュー！

1月22日、23日、田島中学校において「まちづくり出前講座」として、2年生の家庭科の授業で「浴衣の着付け」を実施。自分で浴衣を着てみると「思っていたより簡単だった」「帯の結び方が難しかったけど達成感があって楽しかった」などの感想がありました。

「まちづくり出前講座」は町職員が講師となり、様々な講座を用意していますのでぜひご利用ください。



左から、佐藤豪さん、羽染幹太さん、
渡部壘人さん、河原田海斗さん

2 第60回東北中学校スキー大会 年連続の入賞を果たす

1月26日から3日間、青森県弘前市の岩木青少年スポーツセンターにて開催された標記大会クロスカントリー競技の男子リレーで南会津中学校が2年連続となる6位入賞に輝きました。

選手たちは「今年は1・2年生チームで入賞することができた、来年度は県大会、東北大会と優勝を目指したい」と意気込みを語りました。

3 第68回福島県書きぞめ展 名が書きぞめ大賞に輝く

2月11日、福島テルサ3階「あぶ」にて、福島県書きぞめ展表彰式が行われ、本町からは3名の子どもたちがそれぞれの学年で書きぞめ大賞（県1位相当）に輝きました。

そのほかにも町内の子どもたちが書きぞめ準大賞・書きぞめ賞・奨励賞に選ばれ、本町の書道のレベルの高さがうかがえる結果となりました。



田島中学校2年生の生出遙香さん



南郷小学校2年生の星華恋さん



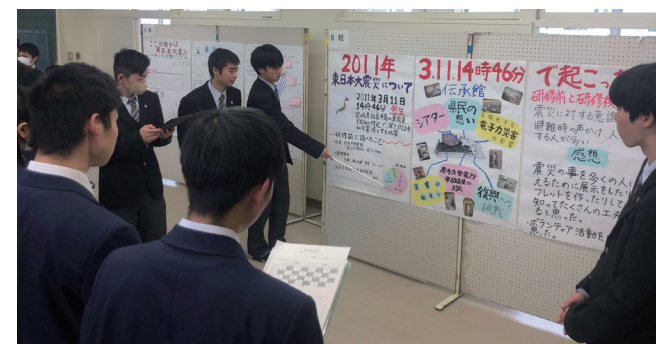
南会津中学校3年生の星楓さん

福 令和5年度「高校生語り部事業」活動成果報告会 島の震災と復興を伝えたい 一南会津高校生の挑戦一

南会津高校本校舎では、統合前の田島高校時代の令和4年度から、県教育委員会が主催する「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業」に参加しています。2月20日、同校において今年度の活動報告会が開かれました。はじめに、東日本大震災・原子力災害伝承館主任研究員の青砥和希さんが講演し、「自分の言葉で福島を語り発信することにより、世界とのつながりを自ら創り出せる。」と会場の生徒たちに力強く語りかけました。

その後、1年次の代表生徒が双葉町と浪江町における校外研修、2学年の震災班の生徒5名が阪神・淡路大震災や新潟県中越地震の被災地訪問と東京の高校生との交流活動を通して学び、考えたことについてそれぞれ報告し、英語班の生徒2名が震災班の研究内容を英訳して発信することに挑戦しました。トークセッションでは、青砥さんがファシリテーターを務め、震災班の生徒と同校の語り部活動を支援している県立博物館主任学芸員の筑波匡介さんがパネリストになり、これまでの同校の語り部活動をふり振り返り、その成果と今後の展望を考えました。

会に先がけて、1年次の全生徒が8つの班に分かれ、校外研修の成果についてのポスターセッションを実施するなど、生徒と教職員全員で福島の震災と復興、そして未来について真剣に考える一日となりました。



消 秋の褒章 藍綬褒章を受章 防活動に献身

2月16日、令和5年秋の褒章において、^{らんじゅう}藍綬褒章を受章された赤井美洋さん(中荒井)の藍綬褒章伝達式が役場本庁舎で行われました。

赤井さんは昭和60年に旧田島町消防団に入団。38年の永きにわたり消防活動に尽力され、現在も副団長として、団員への指導や訓練等に熱心に取り組み、住民が安心して生活できる地域づくりに貢献されています。



左から、深谷振興局長、赤井さん、渡部町長



左から鈴木支局長、角田さん、渡部町長

人 法務大臣感謝状贈呈式 権擁護活動に尽力

1月31日、昨年12月末に人権擁護委員を退任された角田厚さん(大橋)に法務大臣感謝状が贈られました。^{かづまさ}贈呈式では、福島地方法務局若松支局の鈴木一匡支局長から感謝状が伝達されました。角田さんは、平成29年10月に人権擁護委員に委嘱されて以来、2期6年3か月、困りごと相談会や人権教室の企画・実施されるなど積極的に活動していただきました。

未 南会津高校南郷校舎跡地利用住民検討委員会 来につなぐ空き校舎利用

2月1日、令和7年4月に空き校舎となる南会津高等学校南郷校舎の校舎および跡地の利活用について、地域住民目線で検討する標記委員会が実施されました。

第1回は県が提供する制度の概要説明と各委員の校舎利用に対する想いが共有されました。

今後は、議論を重ね多方面から検討した上で、町長に提言書を提出いただく予定です。



第1回検討委員会の様子



善導寺(伊南上町)での消火訓練の様子

後 文化財防火訓練 世へ文化財を残すため

1月28日、文化財防火デーに合わせて田島・伊南地域で文化財防火訓練が行われました。文化財が収蔵されている慈恩寺(木造千手観音坐像：中町)、善導寺(木造阿弥陀如来坐像ほか：伊南上町)で火災が発生した想定で訓練を実施。町消防団や広域消防本部が出動し、消火活動が行われ、貴重な文化財を守るための消火手順や防火意識が再確認されました。

地 ふくしま満天堂グランプリ2023 元の米粉100%で！

福島県産の農林水産物を使用した6次産業化推進プロジェクト「ふくしま満天堂」。

2月1日、同プロジェクトの「ふくしま満天堂グランプリ2023」受賞商品の表彰式が開催され、「米粉のおやつ菓子工房Sucre」の「ふくしまのお米を楽しむ食べ比べ米粉クッキー缶」が73商品の中から準グランプリに選ばれました。

2月5日に、「米粉のおやつ菓子工房Sucre」を営む江黒由佳さん(丹藤)が渡部町長のもとを訪れ、受賞の喜び語りました。

「アレルギーにより自分の子どもがほかの子と同じようにご飯を食べることができないことに歯がゆさを感じ、せめてお菓子だけでもおいしいものを」と、アレルギーフリーのお菓子作りを始めたそうです。

受賞した商品も、地元の農家さんのお米を使用した米粉10割で無添加にこだわり、食べ比べができるよう4種類をクッキー缶の中へ詰めました。

現在は、自販機のための販売となっていますが、ゆくゆくは店舗を持つことが目標だと話されました。



左から、橘農林課長、江黒さん、渡部町長



ふくしまのお米を楽しむ米粉クッキー缶

被 株式会社興林が能登半島地震に義援金 災地に何かできることを

2月9日、株式会社興林(星健一代表取締役)より、被災地支援のため「令和6年能登半島地震災害義援金」として、100万円をご寄託いただきました。

福島支店の生亀潤取締役支店長と、星み子総務総括が渡部町長のもとを訪れ、義援金を手渡されました。

義援金は、日本赤十字社福島県支部を通じて、被災地の支援にあてられます。



左から、生亀取締役支店長、星総務総括、渡部町長

生 株式会社五十嵐工匠からのご寄付 まれ育った地域のために

2月9日、株式会社五十嵐工匠(会津若松市)の五十嵐明良代表取締役が来庁されました。五十嵐代表取締役は水引地区出身。「館岩地域の振興のために役立ててほしい」とあいさつされ、町へ100万円を寄付されました。

館岩地域の子どもたちが充実した幼稚園・学校生活を送り、健やかに成長していくための貴重な財源として、活用させていただきます。



左から、同席された菅家幸弘さん、五十嵐代表取締役、渡部町長

多重債務者相談窓口と 出前講座のご案内

財務省東北財務局福島財務事務所では、借金を抱えお悩みの方々からの相談に応じています。

借金問題は様々な方法で解決できます。秘密厳守、相談無料です。

また、小学生から高齢者の皆様に向け、金融や国の財政などをテーマに出前講座を行っています。費用は一切かかりませんので、お気軽にご相談ください。

相談窓口・問合せ

財務省東北財務局福島財務事務所

電 話 024-533-0064

受付時間 月～金曜日

(祝日、年末年始除く)

午前 8 時30分～正午、

午後 1 時～午後 4 時30分

福島県環境アプリを ご活用ください

県では「福島県環境アプリ」を運用しています。マイバックの活用など、日々エコアクションを実践することでポイントがたまり、県産品やエコグッズが当たる抽選に参加することができます。

また、居住地の「ごみ分別辞典」や「ごみ収集カレンダー」を確認できる便利な機能も有しています。

この機会にアプリをダウンロードし、エコライフを実践しませんか。

問合せ 福島県一般廃棄物課

電 話 024-521-7172



ダウンロードは
コチラ



林業退職金共済制度に 加入しませんか

林業退職金共済制度(林退共)は、昭和57年に発足した林業界で働く方のために国が作った制度です。

この制度は、事業主の方々が、従事者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界をやめたときに林退共から退職金を支払うという、いわば林業界全体の退職金制度です。

掛金は、税法上について、法人では損金、個人企業では必要経費となり、一部を国が免除します。

また、雇用事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

以前、林業の仕事に従事し、その当時、林退共制度に加入していた方で、退職金請求手続きをしたお心当たりのない方は、退職金をまだ受取っていない可能性があります。

思い当たる方は、下記の問合せ先までご連絡ください。

問合せ

独立行政法人勤労者退職金共済機構

林業退職金共済事業本部

電 話 03-6731-2889



ホームページは
コチラ



農地の貸借は 福島県農地バンクへ！

「農地バンク」とは、地域内の分散した農用地等を出し手から借り受け、まとまりのある形で担い手に長期間貸し付ける事業です。

「高齢になったので田んぼを誰かに作ってもらいたい」、「農地を集約して作業を効率化したい」など、農地のことでお悩みの方は、農地バンクにご相談ください。

問合せ

公益財団法人 福島県農業振興公社

電 話 024-521-9845



農地バンク事業
の詳細はコチラ



自動車の移転(変更・抹消) 登録を忘れずに！

自動車税種別割は、4月1日(午前0時)現在の登録名義人に課税されます。自動車を下取りに出したり、譲ったりした場合は、移転登録をしましょう。

また、納税通知書は運輸支局に登録されている住所(自動車検査証記載の住所)へ送付されます。転居した場合は、住所変更の手続きも忘れずに。

手続きの詳細は、運輸支局や自家用自動車組合、自動車販売店、整備工場などにお尋ねください。

問 合 せ 南会津地方振興局

県税部 納税課

電 話 0241-62-5213



自動車税種別割
Q&A



子 各地域で雪交流事業 子どもたちに雪をプレゼント

2月5日、友好都市である埼玉県さいたま市の「さくら草特別支援学校」に館岩地域の雪を届けました。

館岩地域から運んだ雪ですべり台を作成。子どもたちは雪に触れ、とても喜んでいました。

また、さいたま市の竹居秀子教育長が視察に来られ、館岩の雪に直接触れていただくとともに、星教育長と対談されました。



かまくらで遊ぶ子どもたち

2月9日には、昨年6月に災害時応援協定を締結した埼玉県伊奈町で雪交流事業を実施。伊奈町立北保育所などに伊南地域から、約5トンの雪を届けました。

伊奈町の職員の方々と協力して大小2つの滑り台を製作しました。たくさんの雪を目の前にし、始めは怖がっていた園児たちも、次第に笑顔になり、雪遊びの楽しさも届けることができました。

伊奈町の大島清町長は「子どもたちに貴重な体験をさせていただき、感謝いたします。今後も相互に交流を深めていきたい」と話されました。



リレー競技スタートの様子



大きな雪の滑り台に笑顔が

2月4日には、東京都文京区との雪交流事業を実施。文京区立林町小学校に南郷地域の雪を届けました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、朝から多くの来場があり、成澤廣修区長や渡部町長による鏡開きが実施され、花泉酒造のお酒がふるまわれました。会場では本町の特産品などの物産販売も行い、文京区の皆さんに大変ご好評いただけました。

また、本事業には、準備から南会津高校南郷校舎の生徒の皆さんにご協力いただきました。文京区の学生との交流も行われ、学生同士の絆を深めていました。



滑り台の順番を待つ子どもたち

晴 第51回クロスカントリースキー伊南杯 天の伊南を駆けるー

2月17、18日、町と町教育委員会主催の標記大会が、伊南クロスカントリーコースにて開催されました。

県内外から155人の選手が参加した本大会は、両日ともに晴天に恵まれ、フリー競技、クラシカル競技、リレー競技が行われました。

小学1年生から85歳までが、それぞれの目標に向けて伊南の雄大な自然の中を滑り抜けました。